

正誤表（現況分析（教育））

33：横浜国立大学

No.	現況分析単位 (学部・研究科等)	頁数	誤	正	修正事由
01	06_国際社会科学府	P.10	世界銀行との連携による Joint Japan World Bank Graduate Scholarship Program に発展途上国の財務職員を 2016 年度より毎年 4～5 名受け入れている、インドネシアの	世界銀行との連携による Joint Japan World Bank Graduate Scholarship Program に発展途上国の財務職員を 2016 年度より <u>毎年 4～5 名、インドネシアの</u>	不要な文言があったため。
02	06_国際社会科学府	P.12	チリ・サンチャゴのチリカトリック大学で開催される Roundtables for Experienced Managers に 2015 年度から 2019 年度まで毎年 1 名程度が参加し、	チリ・サンチャゴのチリカトリック大学で開催される Roundtables for Experienced Managers に 2015 年度から 2019 年度まで毎年 1 名程度 <u>の学生</u> が参加し、	脱字があったため。
03	06_国際社会科学府	P.17	・ 「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（別添資料 3306-ii1-1)	・ 「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（別添資料 3306-ii1- <u>2</u>)	本文に記載した資料番号が誤っていたため。
04	06_国際社会科学府	P.17	また、最終合格率はそれぞれ 2016 年 12.5%、2017 年 14.93%、2018 年度 3.39%、2019 年度 17.31%であり、前年度(3.39%)から 14%近く向上した。	また、最終合格率はそれぞれ 2016 年 12.5%、2017 年 14.93%、2018 年度 3.39%、2019 年度 17.31%であり、 <u>2019 年度は</u> 前年度(3.39%)から 14%近く向上した。	脱字があったため。
05	11_都市イノベーション	P.9	入学定員充足率（定員内）は、博士	入学定員充足率（定員内）は、博士	実績報告書の提出後に指摘を受け

正誤表（現況分析（教育））

	<p>学府</p>	<p>課程前期においては、2016年度から2018年度まで91%、93%、93%（以上、建築都市文化専攻）、103%、100%、97%（以上、都市地域社会専攻）と推移し、ほぼ100%以内に抑える努力がなされている。博士課程後期においては、2016年度から2018年度までは100%、42%、58%で、やや充足率が低い。本学府では国費及びそれに準ずる留学生（定員外）を積極的に受け入れており、10月入学を含めた在籍者数に対する定員比率はむしろ高く、2016年度から2018年度までは150%、142%、142%になっている。</p>	<p>課程前期においては、2016年度から2018年度まで91%、93%、93%（以上、建築都市文化専攻）、103%、100%、97%（以上、都市地域社会専攻）と推移し、ほぼ100%以内に抑える努力がなされている（10月入学を除いた数値）。博士課程後期においては、2016年度から2018年度までは100%、42%、58%で、やや充足率が低い。本学府では国費及びそれに準ずる留学生（定員外）を積極的に受け入れており、10月入学を含めた在籍者数に対する定員比率はむしろ高く、2016年度から2018年度までは150%、142%、133%になっている。</p>	<p>別添資料 3311-i8-4 を差替。差替に伴い本文中の数値修正。</p>
--	-----------	---	--	--